

令和元年度 男女共同参画懇話会 議事要旨

日時：令和元年9月11日（水） 14：00～16：00

会場：土岐津公民館

事務局	委嘱状の交付 地域振興部長の挨拶				
	各委員による自己紹介				
事務局	懇話会の成立を宣言。 会長、副会長の選出				
	議題 1 「土岐市の男女共同参画の進捗状況」				
事務局	資料に基づき説明				
会 長	事務局の説明に対し、委員より意見、質問はないか。				
委 員	市職員の男女比はどのようなか。				
事務局	回答については、後日議事要旨にて回答する。 (回答) 市職員男女比				
		男性		女性	
	一般行政職	226 人	67.1%	111 人	32.9%
	保育士・幼稚園教諭	2 人	1.8%	108 人	98.2%
	消防職	72 人	100%	0 人	0%
	技能労務職	43 人	72.9%	16 人	27.1%
	医療職	75 人	31.0%	167 人	69.0%
委 員	女性の活躍支援センターへの相談内容について、どのような内容の相談があったか。				
事務局	個別の相談内容については、個人のプライバシーに深くかかわっているため、詳細について把握は現在していない。				
委 員	食事に対するアドバイス等があったのか知りたい。児童、小学生の調査でも朝食の時間、品数が少ないと感じた。				
会 長	今後キャリアナビでの相談内容について、情報共有をしていくことは可能か。				
事務局	県へはたらきかけをしていく。				
委 員	若い人への情報提供など配慮は手厚いが年配への配慮を検討してほしい。				
委 員	基本目標 1 学校等の教育の場で男女の地位が平等になっていると回答した人の割合について、回答した対象者と総数はどのようにになっているか。				
事務局	毎年実施している市民意識調査である。対象者は 16 歳以上、発送総数は 2000 通で、回答率 40.8%であった。				
委 員	「夫は仕事、妻は家庭」に反対と回答した人の割合を昨年から注目していた。もうすぐ目標値を超えていると思っていて、今回超える結果を確認できたことが一番の収穫である。				

会 長	平成 25 年度の基準値が 38. 0%であるから伸びている。
委 員	我々の年代では「妻は家庭を守るべき」という意見が多いが、子どもの世帯になると当たり前のように男だから女だから関係ないことが普通となっている。
委 員	学校等の教育の場で男女の地位が平等になっていると回答した人の割合について、60 歳以上の割合が多いか。
事務局	全体でみると多い。
委 員	若い人なら多いのは普通と思うが、60 歳以上で回答してもらうのはすごいと思う。
委 員	男性の料理教室をやっているが、同じ人が参加されている状況である。いいことではあるが、違った人が来ると良いと思う。
事務局	年に何回くらい開催されているか。
委 員	2～3 回程度開催している。公民館の講座として実施している。
委 員	男性の方ですごくできる、できない方がいる。実施前にできるできないの自己申告をする方がいるが、できないといってもかなりできるイメージである。もっと難しいレシピを求められるケースもある。
委 員	いろいろな人に興味を持ってもらうには、参加者の募集に際し、いい言葉、表現があるといいと思う。
委 員	男女の地位が平等となっていると回答した割合をみると、学校等の教育の場で下がっていることが不思議である。職場での平等は少し下がっているがほぼ同等、家庭生活での平等もほぼ同等、地域活動での平等では下がっている。私たちの感覚ではここ 5 年の間に男女平等の感覚は進んでいると実感しているがなぜデータが下がっているかが不思議である。アンケートの対象が違うため比べられないとは思いますが、事務局はどうか。
事務局	毎年度の実績で確認すると右肩上がりではなく一進一退のような状況である。ただ、全般的に男女共同参画というものはわからない、どちらともいえないと回答する割合が多い項目となっている。ごみの問題や医療の問題については身近な問題として判断しやすいが、男女共同参画という意識的なものについては、個人で判断できないとわからない、どちらともいえない、という回答を選択するケースが多い。
委 員	性の多様性についての理解は教職員、児童生徒ともに学習していて理解を深めている。ただ、意識調査をする一般市民に対し、学校がどのようなことをしているのかが届いていなければ回答できない、ということか。
事務局	そうだと考える。テレビなどで性の多様性について取り上げていることもあり、一般的には知られているが、学校現場ではどうか、ということが伝わっていない。何かそれを測る仕組みがあればよいが。
委 員	男女共同参画について、まちづくり推進課が主となって進められているが、本来は建設や福祉など、他の課と複合的に考えて進めていくべきと考える。また、もっと民間の活力を活用した方が良いと思う。行政として広く実施しているが、土岐市としての長所が見えにくくなっているのが、核となることが何か絞ったほうがよいと思う。参加者の数や実施回数を指標としているが、大切なことは対効果である。

会 長	現在は2次プランとして策定されているため、すぐに改定できるものではないが、必要な視点である。
委 員	8のつく日の退庁について、どの程度実践されているか。
事務局	退庁を促すように午後6時に音楽を流すなどを実施しているが、実際に退庁している数については把握していない。
委 員	いきいきコラムの執筆をしたいと考えているが、今後も機会はあるか。
事務局	以前は各委員にお願いしていたこともあるため、この場で了承をいただければ依頼したいと考えている。
会 長	広報手段として表現の固くないものは必要であると思う。 今後のコラムについて、どのような方針とするか。
事務局	可能であれば執筆を依頼したい。 (過去の記事については土岐市ホームページから確認可能。 今後議事要旨と一緒に執筆に関する案内についても送付する。)
会 長	任期1年目の委員については、積極的な寄稿をお願いしたい。
委 員	過去に寄稿した際に、表現方法が修正されたことがあるが、そのまま掲載してほしい。
委 員	私はある程度修正されたものでもよい。やはり市の広報紙であるため、中身を変えなければ修正はあっても良いと思う。
会 長	他に意見が無いようなので、議題1を終了する。
	議題2その他について
事務局	市の公文書について、性の多様性に考慮し、性別欄を削除する方向であることを説明。 男女共同参画講演会について、令和2年2月15日に実施を予定。
会 長	プランの指標となっているアンケートについては数値の判断が難しいものである。改善できれば行ってほしい。 キャリナビの相談内容については、情報共有できるのであれば実施してほしい。 男女共同参画の取り組みについて、社会にどう還元されているかを測ることは難しいが、わかるものがあればその部分を指標としてほしい。 実施した事業について、広報方法について検討をしたほうが良い。 コラムについては、任期1年目の委員については年内執筆が出来れば積極的に寄稿してほしい。